

第40回「坪田譲治文学賞」の 受賞作が決定しました

岡山市出身でわが国の児童文学に多大な功績をのこした坪田譲治(岡山市名誉市民)を称える「坪田譲治文学賞」の本年度の受賞作決定について発表します。

1 受賞作

『ひみつだけど、話します』 あかね書房
堀川 理万子(ほりかわ りまこ) 著

2 選考経過

令和5年9月1日から令和6年8月31日までの1年間に、全国で刊行された小説・児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された123作品について、予備選考会を経て候補作5作品を選定しました。

これらを令和7年1月14日(火)開催の選考委員会において審査し、上記の作品が選ばれました。

3 贈呈式・記念行事

日時 令和7年3月8日(土)14時～15時15分
場所 西川アイプラザ(北区幸町)



4 添付資料

- 資料1 第40回「坪田譲治文学賞」受賞作について
- 資料2 「坪田譲治文学賞」について
- 資料3 「坪田譲治文学賞」受賞作一覧
- 資料4 贈呈式・記念行事について

5 出版社及び受賞者への取材について

・出版社への取材を希望される場合は、下記の連絡先へご連絡ください。

1月28日(火)は、あかね書房・河野(営業) / 電話 03-3263-0641

1月29日(水)以降は、あかね書房・木内(編集担当) / 電話 03-3263-0644

・受賞者への電話取材を希望する場合は、下記メールアドレスへ次の内容をお送りください。

メールアドレス / kiu@akaneshobo.co.jp あかね書房・木内(編集担当)

- 社名、担当者氏名、連絡先(電話・メールアドレス)
- 受賞者 堀川理万子さんとの電話取材希望日時(日を変えて3案)
- 質問内容レジュメ、電話取材の所要時間

※編集担当からスケジュールを確認し、平日48時間以内に返信します。日時が確定しましたら受賞者の電話番号をお伝えします

6 その他

・受賞者の写真、書影、書籍が必要な場合は、下記問い合わせ先へご連絡ください。

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 山下・上林 電話番号：086-803-1054 内線3746

第40回「坪田譲治文学賞」受賞作について

(文中敬称略、50音順)

| | |
|-----|--------------------------|
| 受賞作 | 『ひみつだけど、話します』 あかね書房 |
| 受賞者 | 堀川 理万子 (ほりかわ りまこ) |
| 正賞 | 賞状及び記念品 (メダル『鳥の少年』蛭田二郎作) |
| 副賞 | 100万円 |

◆選考経過

令和5年9月1日から令和6年8月31日までの1年間(※)に全国で刊行された小説、児童文学等の中から、小説家・児童文学者等から推薦された123作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作5作品を選定。

これを、令和7年1月14日(火)開催の第40回坪田譲治文学賞選考委員会(会場:東京都千代田区平河町「ルポール麹町」)で慎重に審査した結果、堀川 理万子著『ひみつだけど、話します』が選ばれた。

選考委員は、五木寛之、西本鶏介、森詠、川村湊、阿川佐和子、中脇初枝、森絵都の7名。

※選考の基準日は9月1日(岡山市文学賞条例施行規則第2条)

◆受賞者略歴

作家 堀川 理万子

1965年、東京都生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業、同大学院美術研究科修了。絵画作品による個展を定期的で開催するほか、グループ展、出版など幅広く活躍。絵本に Bunkamura ドウマゴ文学賞、講談社絵本賞、小学館児童出版文化賞を受賞した『海のアトリエ』(偕成社)、『おへやだいぼうけん』(教育画劇)、『おひなさまの平安生活えほん』(あすなろ書房)、読み物に『アンニンちゃんとパオズ』(ポプラ社)、絵のみを担当した絵本に『氷河鼠の毛皮』(宮沢賢治/文、ミキハウス)、『びっくりまつぼっくり』(多田多恵子/文、福音館書店)などがある。観葉植物の茂る仕事場でめだかを飼い、日々、作品制作をしている。

◆作品の概要

足立くんは電車がすき。走っている電車を目玉を左右に動かしながら見ると、止まって見えることを最近、発見した。小川さんはお母さんに、「買いぐいはだめ」っていわれているけど、だがし屋さんでひもあめを買って公園で食べた。うっちゃんはいじいちゃんの見舞いに行き、お母さんから預かってきたひみつの小瓶を渡した。あまり学校へ行っていないしゅうこの目下の友だちはてるてるぼうずのテルコだ。すきな給食(さばのたつたあげ)の日には行ってみようかな、と考えている。彼らはこうして、それぞれがちょっとしたひ

みつを持っていて、駅前で、へび公園で、学校で、お互いになにげないことを伝えたり、感じとったりしながら関係性を築いてゆく。ある日の放課後、4人はふみきりに集合する。そして足立くんの電車の見かたを教えてもらう。8才たちの心の動きと、その日々を、堀川理万子さんが文と絵でえがいた物語。巻末のページまでもが楽しみな、珠玉の1冊。

◆受賞者コメント

おとなが発する言葉のいちいちに、「おとなだって、かつては子どもだったはずなのに、言われていやだったことを覚えていないのかしら？」と、いつも、斜に構えている子どもでした（自分の行いを差し置いて）。そんな記憶と、子ども時代の友人たちのエピソードをもとにこの作品をかきました。

絵で文の世界が広がるように描くのはとても楽しいことなので、もともとが画家でよかったですと思う一方、文を書くことには、門外漢という思いがあり、この受賞は、「書いてもいい」という手形をいただけた気がして、深く感謝しております。

◆選考委員のコメント 中脇初枝（小説家）

多様な候補作の中から、堀川理万子氏の『ひみつだけど、話します』が選ばれた。作者による挿絵とともに、放課後の四人の小学生の姿が、いきいきと立ち現れる。世界がどんなに変わっても、こどもの世界は変わらないと改めて気づかされた。長きにわたって日本文学の豊かなありように貢献してきた、稀有な市民の文学賞である坪田譲治文学賞の、記念すべき第40回の受賞作としてふさわしい、おとなもこどもも楽しめる物語である。

「坪田譲治文学賞」について

(文中敬称略)

岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治のすぐれた業績を称えると共に、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資することを目的として、昭和59年12月に「坪田譲治文学賞」を制定しました。

◆坪田譲治文学賞

[目 的] 岡山市出身の小説家・児童文学作家で、岡山市名誉市民の坪田譲治の文学活動における偉大な業績を称えるとともに、市民の創作活動を奨励し、市民文化の向上に資する。

※坪田譲治 (つばた じょうじ)

明治23年(1890年)3月3日生～昭和57年(1982年)7月7日没

[対 象] 9月1日を基準日とし、前1年間に刊行された文学作品(小説、児童文学等)。

[選 考] 文学・出版関係者等から推薦された作品について、「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」という観点で、予備選考会を経て候補作4～6作品程度を選定。その中から選考委員が最終選考を行い、受賞作を選定する。

[表 彰] 正賞 賞状及び記念品(メダル『鳥の少年』蛭田二郎作)

副賞 賞金100万円

[選考委員] 五木寛之、西本鶏介、森詠、川村湊、阿川佐和子、中脇初枝、森絵都

(7名、就任順)

「坪田譲治文学賞」受賞作一覧

| 回次 | 年度 | 作品名 | 著者名 | 出版社名 |
|------|-----|----------------------|--------|--------|
| 第1回 | S60 | 心映えの記 | 太田 治子 | 中央公論社 |
| 第2回 | S61 | ふたつの家のちえ子 | 今村 葦子 | 評論社 |
| 第3回 | S62 | ぼくのお姉さん | 丘 修三 | 偕成社 |
| 第4回 | S63 | 四万十川ーあつよしの夏 | 笹山 久三 | 河出書房新社 |
| 第5回 | H1 | 身がわりー母・有吉佐和子との日日 | 有吉 玉青 | 新潮社 |
| 第6回 | H2 | おどる牛 | 川重 茂子 | 文研出版 |
| 第7回 | H3 | こうばしい日々 | 江國 香織 | あかね書房 |
| 第8回 | H4 | 卵洗い | 立松 和平 | 講談社 |
| 第9回 | H5 | 半分のふるさとー私が日本にいたときのこと | 李 相琴 | 福音館書店 |
| 第10回 | H6 | オサム朝 | 森 詠 | 集英社 |
| 第11回 | H7 | 泣けない魚たち | 阿部 夏丸 | ブロンズ新社 |
| 第12回 | H8 | ぼくたちの<日露>戦争 | 渡辺 毅 | 邑書林 |
| 第13回 | H9 | ぼくはきみのおにいさん | 角田 光代 | 河出書房新社 |
| 第14回 | H10 | ナイフ | 重松 清 | 新潮社 |
| 第15回 | H11 | ウメ子 | 阿川 佐和子 | 小学館 |
| 第16回 | H12 | ニライカナイの空で | 上野 哲也 | 講談社 |
| 第17回 | H13 | 翼はいつまでも | 川上 健一 | 集英社 |
| 第18回 | H14 | 麦ふみクーツェ | いしいしんじ | 理論社 |
| 第19回 | H15 | 人形の旅立ち | 長谷川摂子 | 福音館書店 |
| 第20回 | H16 | ペーターという名のオオカミ | 那須田 淳 | 小峰書店 |
| 第21回 | H17 | ぎぶそん | 伊藤 たかみ | ポプラ社 |
| 第22回 | H18 | 空をつかむまで | 関口 尚 | 集英社 |
| 第23回 | H19 | しずかな日々 | 椰月 美智子 | 講談社 |
| 第24回 | H20 | 戸村飯店青春100連発 | 瀬尾 まいこ | 理論社 |
| 第25回 | H21 | トーキョー・クロスロード | 濱野 京子 | ポプラ社 |
| 第26回 | H22 | おれのおばさん | 佐川 光晴 | 集英社 |
| 第27回 | H23 | 鉄のしぶきがはねる | まはら 三桃 | 講談社 |
| 第28回 | H24 | きみはいい子 | 中脇 初枝 | ポプラ社 |
| 第29回 | H25 | 世界地図の下書き | 朝井 リョウ | 集英社 |
| 第30回 | H26 | クリオネのしっぽ | 長崎 夏海 | 講談社 |
| 第31回 | H27 | いと森の家 | 東 直子 | ポプラ社 |
| 第32回 | H28 | Masato | 岩城 けい | 集英社 |
| 第33回 | H29 | キジムナーkids | 上原 正三 | 現代書館 |
| 第34回 | H30 | ペンギンは空を見上げる | 八重野 統摩 | 東京創元社 |
| 第35回 | R1 | あららのはたけ | 村中 李衣 | 偕成社 |
| 第36回 | R2 | もうひとつの曲がり角 | 岩瀬 成子 | 講談社 |
| 第37回 | R3 | 旅する練習 | 乗代 雄介 | 講談社 |
| 第38回 | R4 | ぼくんちのねこのはなし | いとう みく | くもん出版 |
| 第39回 | R5 | 成瀬は天下を取りに行く | 宮島 未奈 | 新潮社 |
| 第40回 | R6 | ひみつだけど、話します | 堀川 理万子 | あかね書房 |

第40回「坪田譲治文学賞」贈呈式・記念行事について

1 日時

令和7年3月8日(土)14時~15時15分

2 会場

西川アイプラザ 多目的ホール(北区幸町)

3 内容

- ・第40回岡山市文学賞「坪田譲治文学賞」の贈呈式
- ・受賞者 堀川理万子氏と作家 中脇初枝氏による対談

4 募集人員

250名(先着順)

5 応募方法

はがきに参加者希望者全員の住所・氏名・電話番号を明記し、「申込・問い合わせ先」へお送りください。または、次の二次元コード(岡山市文学賞ウェブサイト)からお申込みください。



6 応募締切

令和7年2月7日(金)必着 ※定員に達し次第締め切ります。

7 申込・問い合わせ先

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市文化振興課
電話:086-803-1054
※電話でのお申込みはできません。

坪田譲治について



写真は坪田譲治の孫、西村真理さんからご提供いただきました。

明治23(1890)年3月3日、現在の岡山市北区島田本町に生まれ、18歳で東京に進学するまで、岡山の豊かな自然の中で過ごしました。代表作「風の中の子供」「お化けの世界」をはじめ、多くの作品に主人公として登場する善太と三平の兄弟が、郷土岡山を思わせる田園風景の中で活躍する姿がいきいきと描かれています。

昭和54(1979)年に岡山市名誉市民となり、昭和57(1982)年7月7日、92歳で永眠。

坪田譲治文学賞について



岡山市出身で、わが国の児童文学に新しい分野を拓いた坪田譲治のすぐれた業績を称えて制定されました。9月1日を基準日として、毎年、刊行された文学作品の中から大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品を選んでいます。

選考委員
五木寛之、西本鶏介、森詠、川村湊、阿川佐和子、
中脇初枝、森絵都(敬称略)

市民の童話賞受賞者

一般の部

| | | | |
|-----|-----------------------|----|--------------|
| 最優秀 | 浦先生のひみつ | 2部 | 藤原 行久 |
| 優 秀 | 海つ霊が呼んでいる | 2部 | 河本 蘭奈 |
| 優 秀 | はい、くそばばあ、でございます | 2部 | ぶっぼう あやりい |
| 入 選 | 秘密結社 サンタクロース・カンパニー | 2部 | 實近 裕美 |
| 入 選 | 夏の宝物 | 2部 | 松永 浩典 |
| 入 選 | 初めましてまた明日 | 2部 | 木村 蓮杏菜 |
| 入 選 | おじちゃんとダンゴムシ | 1部 | 早川 浩美 |

選考委員 ※50音順/敬称略
赤木 雅宣、高見 京子、村中 李衣、森田 恵子

小中学生の部

| | | |
|----|------------|--------|
| 入選 | 岡山◎ようかい日記 | 大森 葉子 |
| 入選 | 花 | 鈴木 綾乃 |
| 入選 | 生徒会選挙 | 川上 結輝 |
| 入選 | ぼくはおまわりさん | 熊本 菜那 |
| 入選 | 雨の髪の毛とピンク色 | 徳田 七海 |
| 佳作 | チュリップと絵のぐ | 日下 寧々子 |
| 佳作 | ひみつの信号機 | 原田 美紀 |

選考委員 ※50音順/敬称略
片山 ひとみ、其輪 純子、中川 貴夫、星野 佳之



岡山が文学のまちになる。
文学と本を楽しむイベントが目白押し。



2023年10月、岡山市は「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟が認定されました。ユネスコ創造都市ネットワークには7分野あり、岡山市は、日本で初めて文学分野の加盟都市となりました。

おかやま ZINE スタジアム

誰でも作れる、売れる手作り本「ZINE」(ジン)の販売会。一般に流通する本とは一味違った個性あふれる「ZINE」と出会えるかも。

日時: 3月2日(日) 11時~16時
会場: 旧内山下小学校(北区丸の内1丁目2-12)
※会場では上履きが必要です

第40回 坪田譲治文学賞贈呈式

坪田譲治文学賞の贈呈式と、記念行事を行います。

日時: 3月8日(土) 14時~15時15分
会場: 西川アイプラザ(北区幸町10-16)

おかやま 文芸小学校

全国から出版社・書店・図書館・文学に関わる人々が集まる2日間。本の販売だけでなく、出版・書店にまつわるトークイベントやワークショップも開催。おいしいフード・ドリンクも出店します。

日時: 3月15日(土)、16日(日) 11時~16時
会場: 旧内山下小学校(北区丸の内1丁目2-12)
※会場では上履きが必要です



坪田譲治文学賞受賞作家フェア 期間 2月10日(月)~3月9日(日)

| | | |
|-----------------------|--------------------------------|---------------|
| 啓文社岡山本店 | 岡山市 北区下中野377-1 | ☎086-805-1123 |
| TSUTAYA AZ岡南店 | 岡山市 南区築港栄町5-12 アクロスプラザ岡南 | ☎086-263-9154 |
| TSUTAYA BOOKSTORE岡山駅前 | 岡山市 北区駅前町1丁目8-18 2階イコットニコット | ☎086-238-3535 |
| TSUTAYA大安寺店 | 岡山市 北区野殿西町329-1 | ☎086-253-1717 |
| 宮脇書店平島店 | 岡山市 東区東平島1001-1 | ☎086-230-2007 |
| 宮脇書店東岡山店 | 岡山市 中区乙多見95-1 | ☎086-279-3988 |
| 宮脇書店岡北店 | 岡山市 北区中井町2-2-7天満屋ハッピータウン岡北店3階 | ☎086-201-2501 |
| 紀伊國屋書店クレド岡山店 | 岡山市 北区中山下1丁目8-45 NTTクレド岡山ビル2F | ☎086-212-2551 |
| 紀伊國屋書店エブリイ津高店 | 岡山市 北区横井上83-3 エブリイOkanaka津高3F | ☎086-251-6811 |
| 丸善さんすて岡山店 | 岡山市 北区駅元町1-1 さんすて岡山北館2階 | ☎086-230-3001 |
| 丸善岡山シンフォニービル店 | 岡山市 北区表町1丁目5-1 | ☎086-233-4640 |
| 未来屋書店岡山店 | 岡山市 北区下石井1丁目2-1 | ☎086-803-5571 |
| 本の森セルバ岡山店 | 岡山市 北区津島南1丁目2-7 フレスタモールカジル津島1F | ☎086-728-0757 |
| 451ブックス | 玉野市 八浜町見石1607-5 | ☎0863-51-2920 |



昨年度の
写真